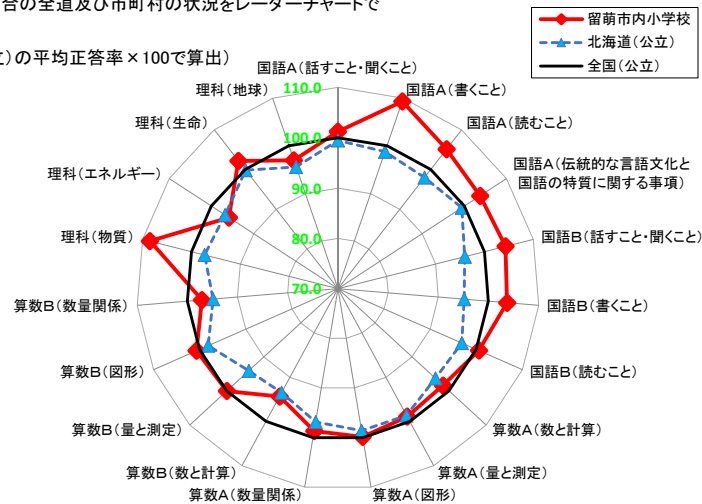


■留萌市内小学校の状況及び学力向上策(学校数:5校、児童数:135人)

【教科全体の状況】

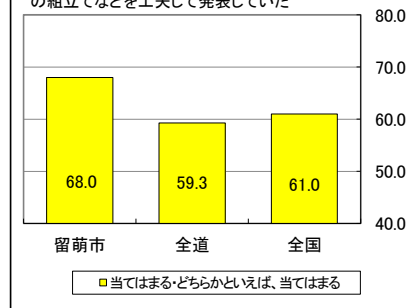
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



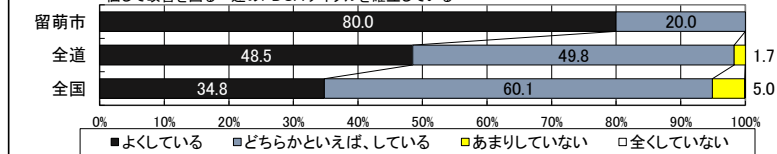
【児童質問紙調査】

授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していた

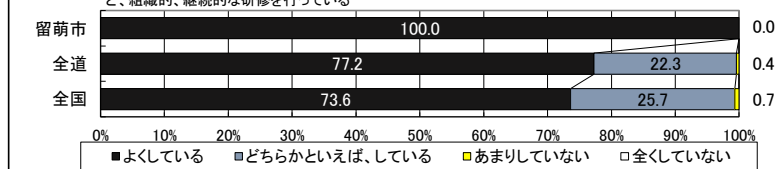


【学校質問紙調査】

児童の姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立している



校長のリーダーシップのもと、研修リーダー等を校内に設け、校内研修の実施計画を整備するなど、組織的、継続的な研修を行っている



【分析】

教科	○ 国語A・Bでは、全ての領域で全国を上回っている。 ○ 算数Aでは、「図形」で全国とほぼ同様になっている。 ○ 算数Bでは、「量と測定」で全国と同じ、「図形」で全国を上回っている。 ○ 理科では、「物質」「生命」で全国を上回っている。	○ 児童に、自分の考えを整理させ、相手に分かりやすく伝えるための表現を工夫させる指導を充実したことにより、論理的な思考力やコミュニケーション能力等が育成され、国語の全ての領域で全国を上回る成果につながったと考えられる。
児童質問紙	○ 「授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していた」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。	○ 全ての学校で、各種データ等に基づいたPDCAサイクルを確立するとともに、校内研修の取組を組織的、継続的に推進したことにより、質の高い教育活動の展開につながったと考えられる。
学校質問紙	○ 「児童の姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立している」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 全ての学校が、「校長のリーダーシップのもと、研修リーダー等を校内に設け、校内研修の実施計画を整備するなど、組織的、継続的な研修を行っている」と回答している。	

【留萌市の学力向上策】

- ◎ 各種学力調査の結果分析に基づく検証改善サイクルの確立
- ◎ 「主体的・対話的で深い学び」の視点を重視した授業の充実
- ◎ 加配を活用したT・Tによる指導や習熟度別指導、学習補助員の配置による個に応じた指導の充実
- ◎ 各学校や研究団体における教職員の資質・能力の総合的な向上に向けた取組の支援

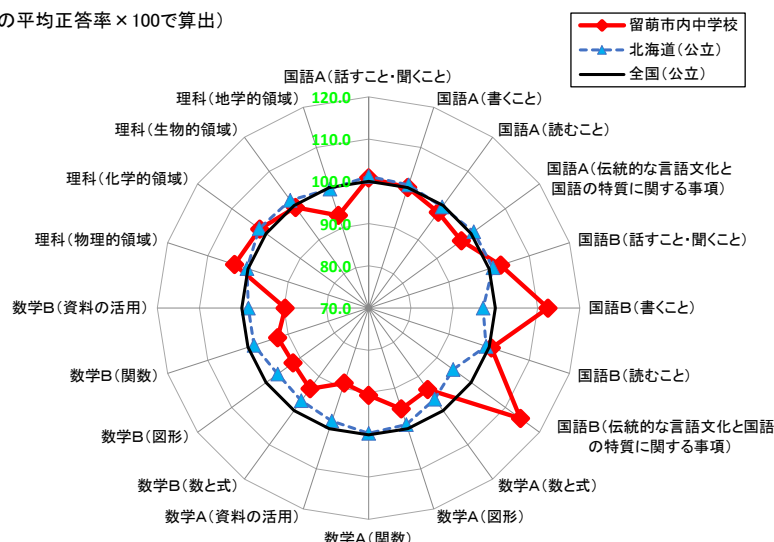
■ 留萌市内中学校の状況及び学力向上策 (学校数:2校、生徒数:135人)

【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで

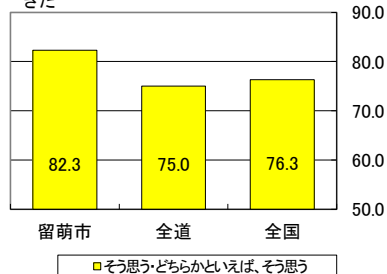
示したもの

(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【生徒質問紙調査】

生徒の間に話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができた



【学校質問紙調査】

生徒は、授業中の私語が少なく、落ち着いている



校長のリーダーシップのもと、研修リーダー等を校内に設け、校内研修の実施計画を整備するなど、組織的、継続的な研修を行っている



【分析】

教科	○ 国語Aでは、「話すこと・聞くこと」で全国を上回り、「書くこと」で全国と同じである。 ○ 国語Bでは、全ての領域で全国を上回っている。 ○ 数学Aでは、「図形」で全国に最も近くなっている。 ○ 理科では、「物理的領域」「化学的領域」で全国を上回っている。	○ 生徒が話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりできるように指導を工夫したことにより、学習内容への理解が深まり、国語と理科の7つの領域で全国を上回る成果につながったと考えられる。
生徒質問紙	○ 「生徒の間に話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができた」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。	○ 全ての学校で、学習規律の確立に向けた取組や教職員の指導力の向上に向けた校内研修を組織的、継続的に推進したことにより、授業において生徒の対話的な学びが充実するなど、授業改善につながったと考えられる。
学校質問紙	○ 全ての学校が、「生徒は、授業中の私語が少なく、落ち着いている」「校長のリーダーシップのもと、研修リーダー等を校内に設け、校内研修の実施計画を整備するなど、組織的、継続的な研修を行っている」と回答している。	

【留萌市の学力向上策】

- ◎ 各種学力調査の結果分析に基づく検証改善サイクルの確立
- ◎ 「主体的・対話的で深い学び」の視点を重視した授業の充実
- ◎ 加配を活用したT・Tによる指導や習熟度別指導、学習補助員の配置による個に応じた指導の充実
- ◎ 各学校や研究団体における教職員の資質・能力の総合的な向上に向けた取組の支援